

第 70 回「山形県内企業の景気動向調査」速報

(令和 4 年 2 月調査)

～景況感は足踏み状態。先行きは依然として慎重姿勢～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲10.9（前回調査比 1.4 ポイント上昇）と小幅ながら改善となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「売上高」が改善した一方、「営業利益」と「資金繰り」は悪化し、「人員・人手」はプラス幅が縮小した。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が▲25.6（前回調査比 13.3 ポイント下落）、製造業が 1.7（前回調査比 7.4 ポイント上昇）、卸・小売業が▲21.6（前回調査比 0.1 ポイント上昇）、サービス業が▲1.2（前回調査比 10.1 ポイント上昇）と、建設業は悪化、製造業とサービス業は改善、卸・小売業はほぼ横ばいとなった。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲12.2（前回調査比 7.1 ポイント上昇）、村山北部が▲8.4（前回調査比 4.6 ポイント下落）、最上が 0.0（前回調査比 5.1 ポイント上昇）、置賜が▲18.1（前回調査比 20.1 ポイント下落）、庄内田川が▲12.0（前回調査比 6.9 ポイント下落）、庄内飽海が▲11.3（前回調査比 19.2 ポイント上昇）と、村山南部、最上、庄内飽海で改善、村山北部、置賜、庄内田川で悪化となった。
- **先行き見通し**は「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲28.9（今回調査比 18.0 ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。

【特別調査】

- **雇用調整**について尋ねたところ、全業種でみると「実施している（した）」と回答した企業の割合は「残業規制」が 32.8%（昨年比 5.5 ポイント低下）、「ワークシェアリング」が 13.8%（昨年比 2.0 ポイント上昇）、「従業員の削減」が 4.2%（昨年比 1.3 ポイント低下）、「従業員の中途採用」が 44.5%（昨年比 6.2 ポイント上昇）と、昨年に比べ、「残業規制」と「従業員の削減」の割合は低下し、「ワークシェアリング」「従業員の中途採用」の割合は上昇した。
- **新卒者の採用状況**について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種でみると 40.6%（昨年調査比 3.8 ポイント上昇）と 4 年ぶりに上昇となった。

令和 4 年 3 月

株式会社 フィデア情報総研

目次

I.	県内企業の業況	1
1.	概況	1
2.	業種別の動向	2
(1)	業種別の概況	2
(2)	業種別 D I 値の動向	3
①	建設業	3
②	製造業	4
③	卸・小売業	5
④	サービス業	6
3.	地域別の動向	7
(1)	地域別の概況	7
(2)	地域別 D I 値の動向	8
①	村山南部	8
②	村山北部	9
③	最 上	10
④	置 賜	11
⑤	庄内田川	12
⑥	庄内飽海	13
II.	景気の天気予報図	14
III.	特別調査	15
1.	雇用調整について	15
2.	新卒者の採用状況について	17
	<参考資料 I : 地域別・業種別回答率>	18
	<参考資料 II : 調査の概要>	18

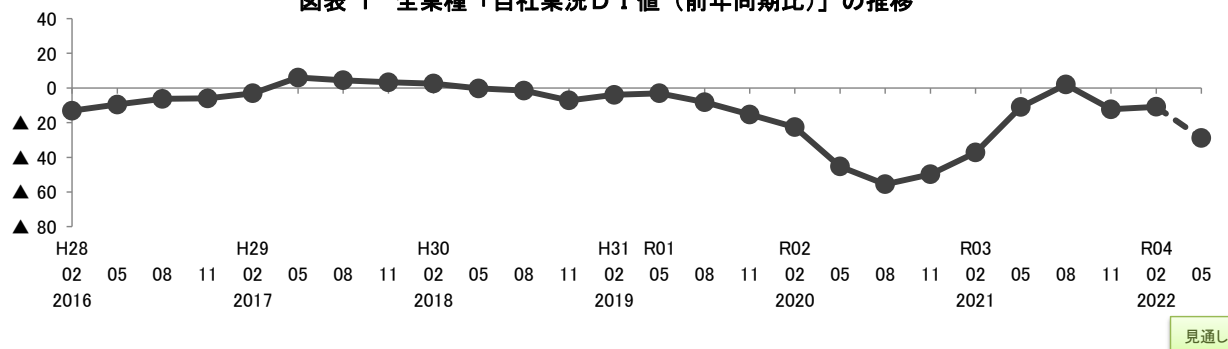
I. 県内企業の業況

1. 概況

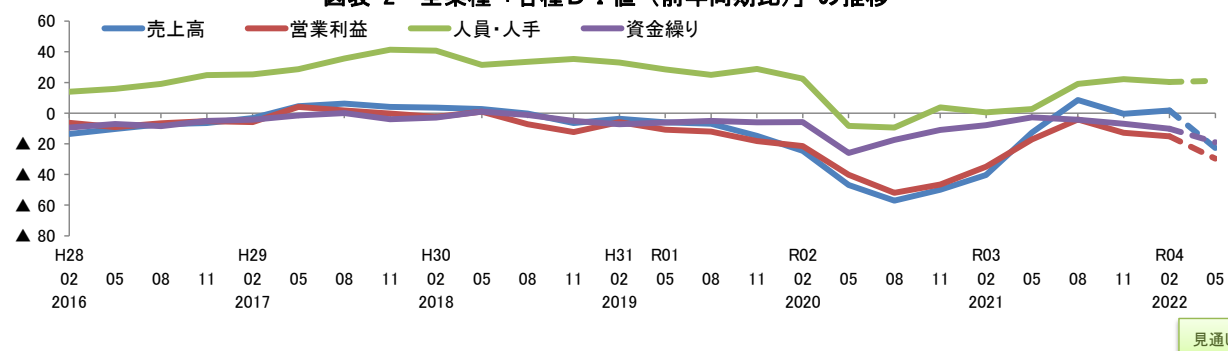
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲10.9（前回調査比1.4ポイント上昇）と小幅ながら改善となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「売上高」が改善した一方、「営業利益」と「資金繰り」は悪化し、「人員・人手」はプラス幅が縮小した。

先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲28.9（今回調査比18.0ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。新型コロナウイルスの感染状況が小康状態となり、県内業況には一時持ち直しの兆しがみられたものの、その後のオミクロン株の感染拡大、まん延防止等重点措置の適用を受けて、先行きに対する警戒感は強まり、慎重姿勢は今後も続くものと思われる。

図表 1 全業種「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	前回調査比	前回調査予測				
R 03. 02 (n=397)	▲ 37.2	(12.6)	▲ 28.7	▲ 40.3	▲ 35.0	0.5	▲ 7.8
R 03. 05 (n=409)	▲ 11.0	(26.2)	▲ 39.6	▲ 12.7	▲ 17.1	2.7	▲ 2.7
R 03. 08 (n=393)	2.0	(13.0)	▲ 16.2	8.6	▲ 4.1	19.0	▲ 4.3
R 03. 11 (n=398)	▲ 12.3	(▲ 14.3)	▲ 15.5	▲ 0.5	▲ 12.8	22.1	▲ 7.0
R 04. 02 (n=384)	▲ 10.9	(1.4)	▲ 9.1	1.8	▲ 15.1	20.3	▲ 10.2
前回調査比	-	-	-	(2.3)	(▲ 2.3)	(▲ 1.8)	(▲ 3.2)
先行き見通し	▲ 28.9	-	-	▲ 22.7	▲ 29.7	21.1	▲ 19.0
今回調査比	(▲ 18.0)	-	-	(▲ 24.5)	(▲ 14.6)	(0.8)	(▲ 8.8)

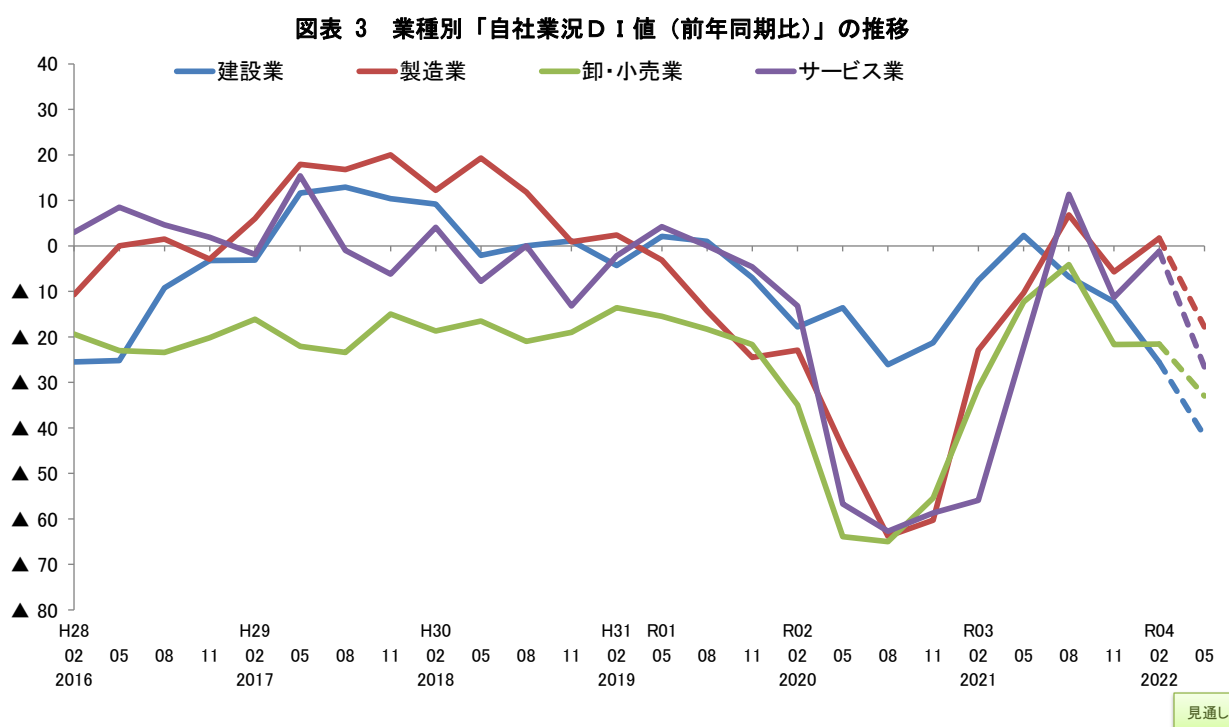
※「売上高」DI値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、建設業が▲25.6（前回調査比13.3ポイント下落）、製造業が1.7（前回調査比7.4ポイント上昇）、卸・小売業が▲21.6（前回調査比0.1ポイント上昇）、サービス業が▲1.2（前回調査比10.1ポイント上昇）と、建設業は悪化、製造業とサービス業は改善、卸・小売業はほぼ横ばいとなった。

業況の先行き見通しは、すべての業種で悪化の見込みとなっている。



前年同期比の自社業況DI値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
R 03. 02 (n=397)	▲ 37.2	▲ 7.6	▲ 22.9	▲ 31.2	▲ 55.9
R 03. 05 (n=409)	▲ 11.0	2.3	▲ 10.3	▲ 12.3	▲ 22.2
R 03. 08 (n=393)	2.0	▲ 6.8	6.8	▲ 4.1	11.3
R 03. 11 (n=398)	▲ 12.3	▲ 12.3	▲ 5.7	▲ 21.7	▲ 11.3
R 04. 02 (n=384)	▲ 10.9	▲ 25.6	1.7	▲ 21.6	▲ 1.2
前回調査比	(1.4)	(▲ 13.3)	(7.4)	(0.1)	(10.1)
先行き見通し	▲ 28.9	▲ 41.8	▲ 17.8	▲ 33.0	▲ 26.6
今回調査比	(▲ 18.0)	(▲ 16.2)	(▲ 19.5)	(▲ 11.4)	(▲ 25.4)

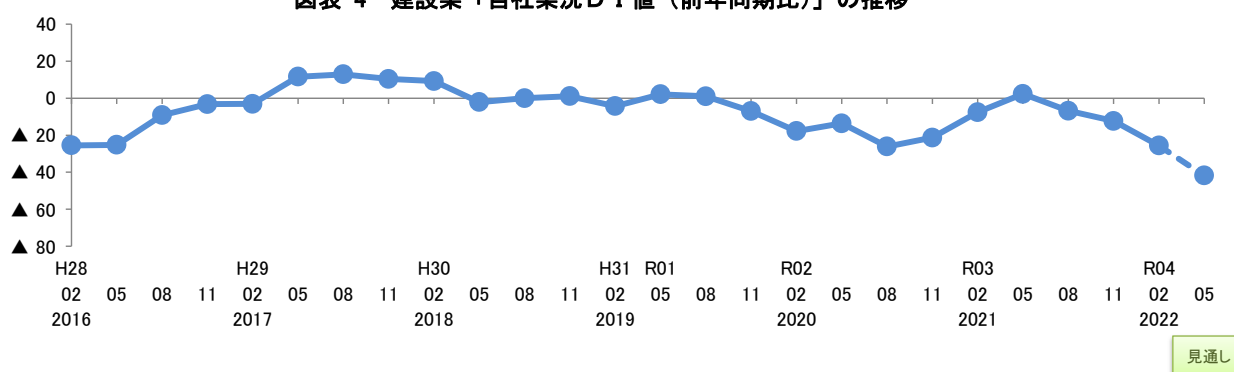
(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

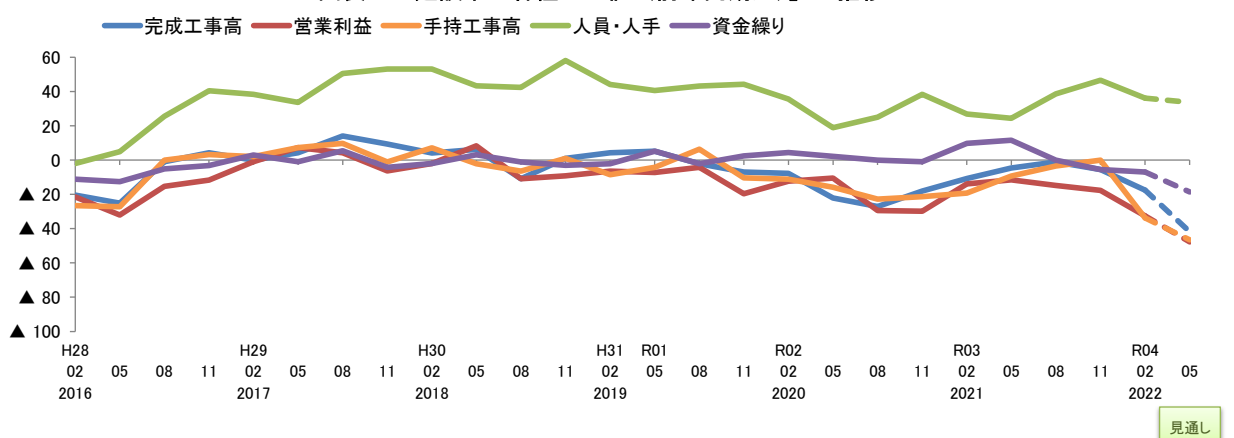
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲25.6（前回調査比 13.3 ポイント下落）と、3 期連続で悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「完成工事高」「営業利益」「手持工事高」「資金繰り」で悪化し、特に「手持工事高」で大幅な下落となった。「人員・人手」は 3 期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントから、新型コロナの感染拡大によって濃厚接触者に該当する就業制限の対象者が増加し、人手の確保がますます困難になっている状況がうかがえる。また、公共工事の減少や建築資材の高騰を不安視する内容も複数みられた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲41.8（今回調査比 16.2 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

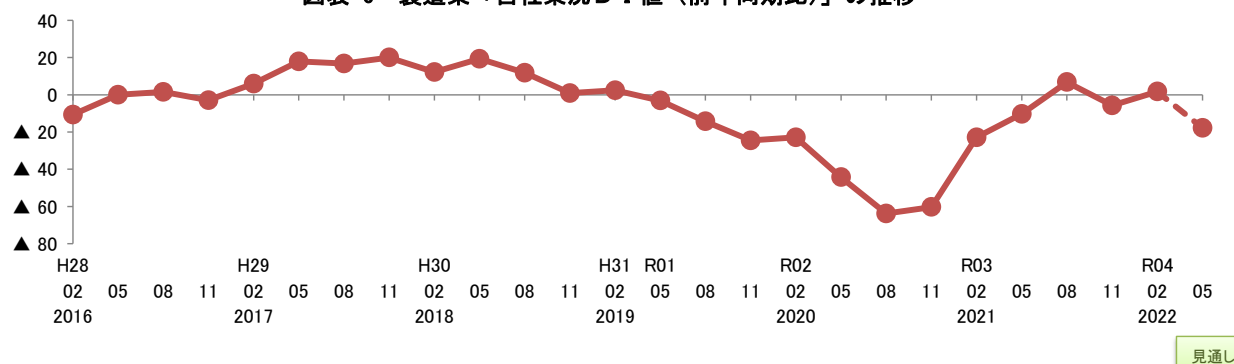
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
R 03. 02 (n=93)	▲ 7. 6	(13. 7)	▲ 26. 6	▲ 10. 8	▲ 13. 9	▲ 19. 3	26. 8	9. 7
R 03. 05 (n=86)	2. 3	(9. 9)	▲ 37. 6	▲ 4. 6	▲ 11. 6	▲ 9. 3	24. 4	11. 6
R 03. 08 (n=88)	▲ 6. 8	(▲ 9. 1)	▲ 16. 3	▲ 1. 1	▲ 14. 8	▲ 3. 4	38. 6	0. 0
R 03. 11 (n=90)	▲ 12. 3	(▲ 5. 5)	▲ 23. 9	▲ 5. 6	▲ 17. 7	0. 0	46. 6	▲ 5. 6
R 04. 02 (n=86)	▲ 25. 6	(▲ 13. 3)	▲ 23. 3	▲ 17. 5	▲ 32. 6	▲ 33. 7	36. 1	▲ 7. 0
前回調査比	-	-	-	(▲ 11. 9)	(▲ 14. 9)	(▲ 33. 7)	(▲ 10. 5)	(▲ 1. 4)
先行き見通し	▲ 41. 8	-	-	▲ 41. 8	▲ 47. 7	▲ 46. 6	33. 7	▲ 18. 6
今回調査比	(▲ 16. 2)	-	-	(▲ 24. 3)	(▲ 15. 1)	(▲ 12. 9)	(▲ 2. 4)	(▲ 11. 6)

② 製造業

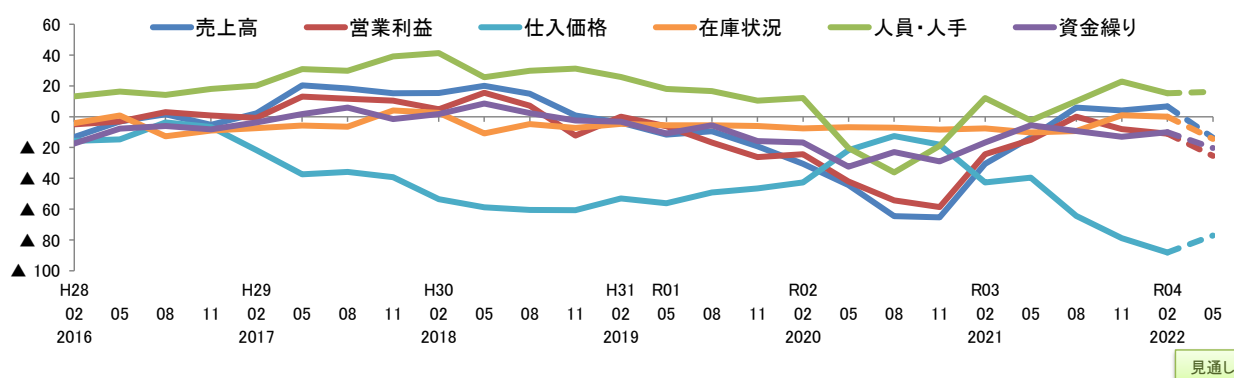
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 1.7（前回調査比 7.4 ポイント上昇）と、一進一退の状況となり、D I 値がプラスに転じた。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「売上高」と「資金繰り」は改善、「営業利益」「仕入価格」「在庫状況」は悪化となった。「人員・人手」は 3 期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントより、需要増が続いていることから、半導体関連は比較的好調に推移している様子が見受けられる。しかし、部品の調達難や円安による輸入原料の値上がり、感染再拡大に伴う工場の稼働停止など懸念材料も多く、先行きへの警戒は今後も続くものと推察される。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲17.8（今回調査比 19.5 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

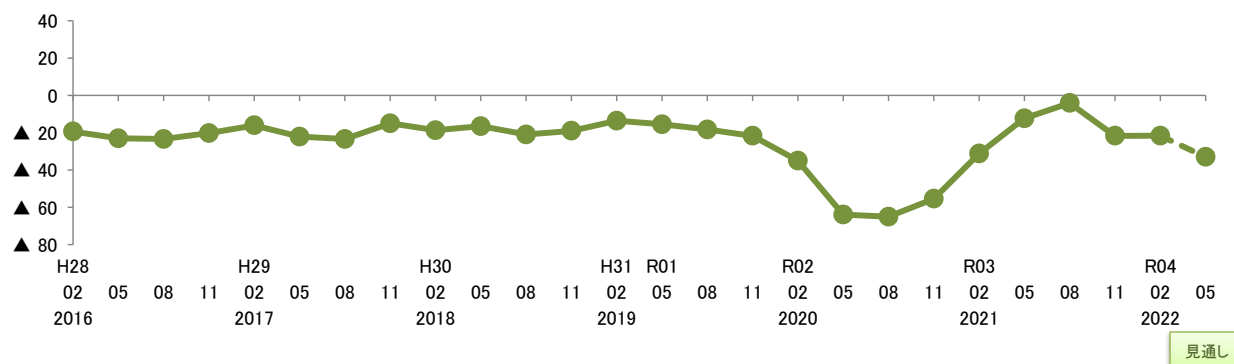
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員・人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
R 03. 02 (n=118)	▲ 22.9	(37.4)	▲ 26.4	▲ 30.5	▲ 24.4	▲ 42.7	▲ 7.6	12.2	▲ 16.8
R 03. 05 (n=126)	▲ 10.3	(12.6)	▲ 29.0	▲ 13.5	▲ 15.1	▲ 39.6	▲ 10.3	▲ 2.4	▲ 5.5
R 03. 08 (n=118)	6.8	(17.1)	▲ 8.7	5.9	0.0	▲ 64.5	▲ 9.3	10.1	▲ 9.3
R 03. 11 (n=123)	▲ 5.7	(▲ 12.5)	▲ 4.3	4.1	▲ 8.1	▲ 78.9	0.9	22.8	▲ 13.0
R 04. 02 (n=118)	1.7	(7.4)	0.8	6.7	▲ 11.0	▲ 88.2	0.0	15.3	▲ 10.1
前回調査比	-	-	-	(2.6)	(▲ 2.9)	(▲ 9.3)	(▲ 0.9)	(▲ 7.5)	(2.9)
先行き見通し	▲ 17.8	-	-	▲ 13.6	▲ 25.4	▲ 77.2	▲ 14.4	16.1	▲ 20.4
今回調査比	(▲ 19.5)	-	-	(▲ 20.3)	(▲ 14.4)	(11.0)	(▲ 14.4)	(0.8)	(▲ 10.3)

③ 卸・小売業

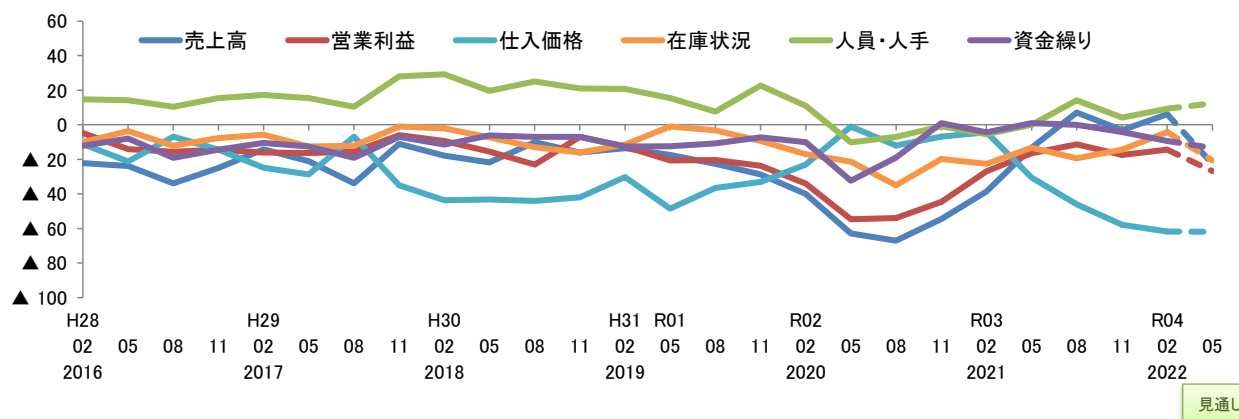
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲21.6（前回調査比 0.1 ポイント上昇）とほぼ横ばいとなった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「売上高」「営業利益」「在庫状況」は改善したものの、「仕入価格」と「資金繰り」は悪化となった。「人員・人手」はプラス幅が拡大し、一進一退の状況となった。各社のコメントから、依然一部の商品で品薄状態や入荷の遅れが発生しており、仕入れや流通において不安定な状態が続いていることがうかがえる。また、燃料費や原材料費は急速に上昇しているものの、販売価格への反映は難しく、厳しい状況にあるといった内容も見受けられた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲33.0（今回調査比 11.4 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

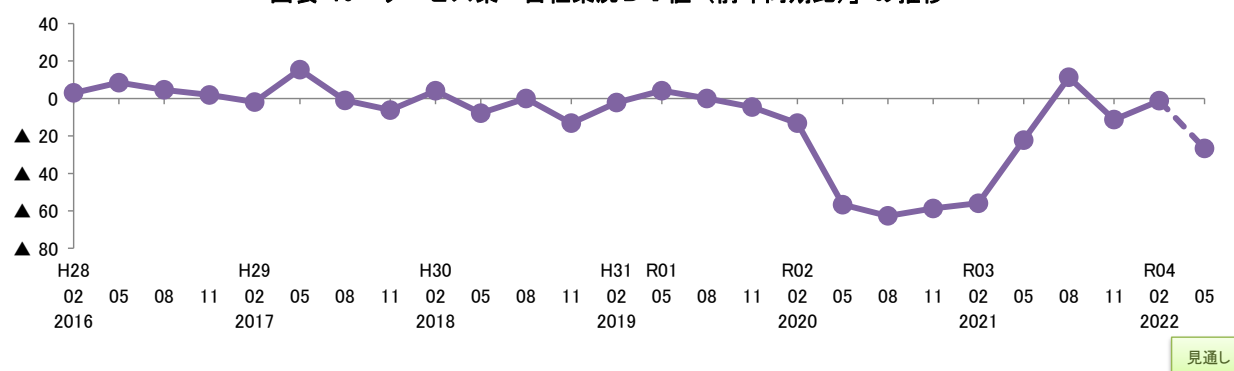
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
R 03.02 (n=93)	▲ 31.2	(24.2)	▲ 31.7	▲ 38.7	▲ 26.9	▲ 4.3	▲ 22.6	▲ 5.4	▲ 4.3
R 03.05 (n=98)	▲ 12.3	(18.9)	▲ 37.6	▲ 13.2	▲ 16.4	▲ 30.6	▲ 13.3	0.0	1.0
R 03.08 (n=98)	▲ 4.1	(8.2)	▲ 22.4	7.1	▲ 11.3	▲ 46.0	▲ 19.4	14.2	0.0
R 03.11 (n=97)	▲ 21.7	(▲ 17.6)	▲ 20.4	▲ 3.1	▲ 17.5	▲ 57.8	▲ 14.4	4.1	▲ 4.2
R 04.02 (n=97)	▲ 21.6	(0.1)	▲ 12.4	6.1	▲ 14.4	▲ 61.8	▲ 4.2	9.3	▲ 9.3
前回調査比	-	-	-	(9.2)	(3.1)	(▲ 4.0)	(10.2)	(5.2)	(▲ 5.1)
先行き見通し	▲ 33.0	-	-	▲ 22.6	▲ 26.8	▲ 61.9	▲ 20.6	12.4	▲ 13.4
今回調査比	(▲ 11.4)	-	-	(▲ 28.7)	(▲ 12.4)	(▲ 0.1)	(▲ 16.4)	(3.1)	(▲ 4.1)

④ サービス業

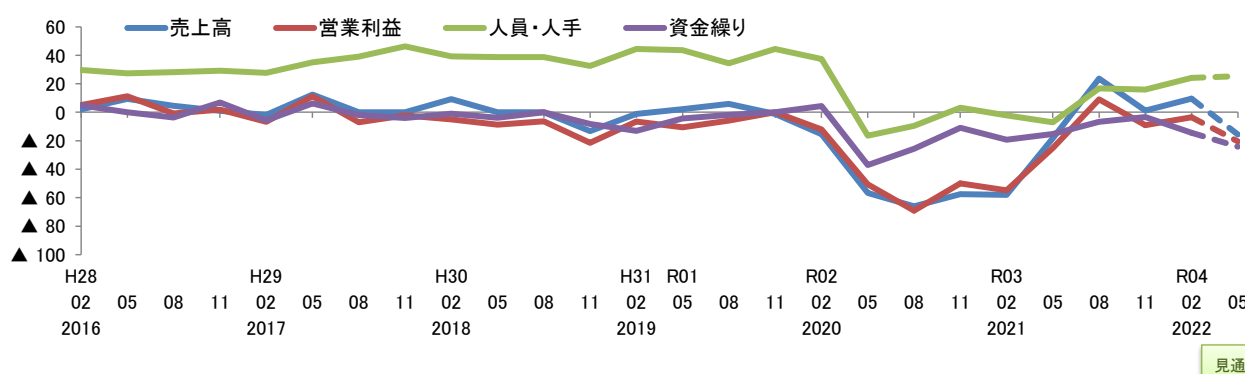
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲1.2（前回調査比 10.1 ポイント上昇）と一進一退の状況となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「売上高」と「営業利益」が改善した一方、「資金繰り」が悪化した。「人員・人手」はプラス幅が拡大し、一進一退の状況となっている。各社のコメントから、宿泊業や観光業では割引キャンペーンなどによる後押しもあり、来客数が回復しつつあったものの、オミクロン株が広がり始めると再び予約のキャンセルが増加しており、新型コロナの感染状況が直接業況に与える影響は特に強いとみられる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲26.6（今回調査比 25.4 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
R 03.02 (n=93)	▲ 55.9	(2.8)	▲ 30.5	▲ 58.1	▲ 54.8	▲ 2.2	▲ 19.3
R 03.05 (n=99)	▲ 22.2	(33.7)	▲ 47.3	▲ 18.2	▲ 25.2	▲ 7.1	▲ 15.2
R 03.08 (n=89)	11.3	(33.5)	▲ 19.2	23.6	9.0	16.8	▲ 6.7
R 03.11 (n=88)	▲ 11.3	(▲ 22.6)	▲ 16.9	1.2	▲ 9.1	15.9	▲ 3.4
R 04.02 (n=83)	▲ 1.2	(10.1)	▲ 4.6	9.6	▲ 3.6	24.1	▲ 14.5
前回調査比	-	-	-	(8.4)	(5.5)	(8.2)	(▲ 11.1)
先行き見通し	▲ 26.6	-	-	▲ 15.6	▲ 20.4	25.3	▲ 24.1
今回調査比	(▲ 25.4)	-	-	(▲ 25.2)	(▲ 16.8)	(1.2)	(▲ 9.6)

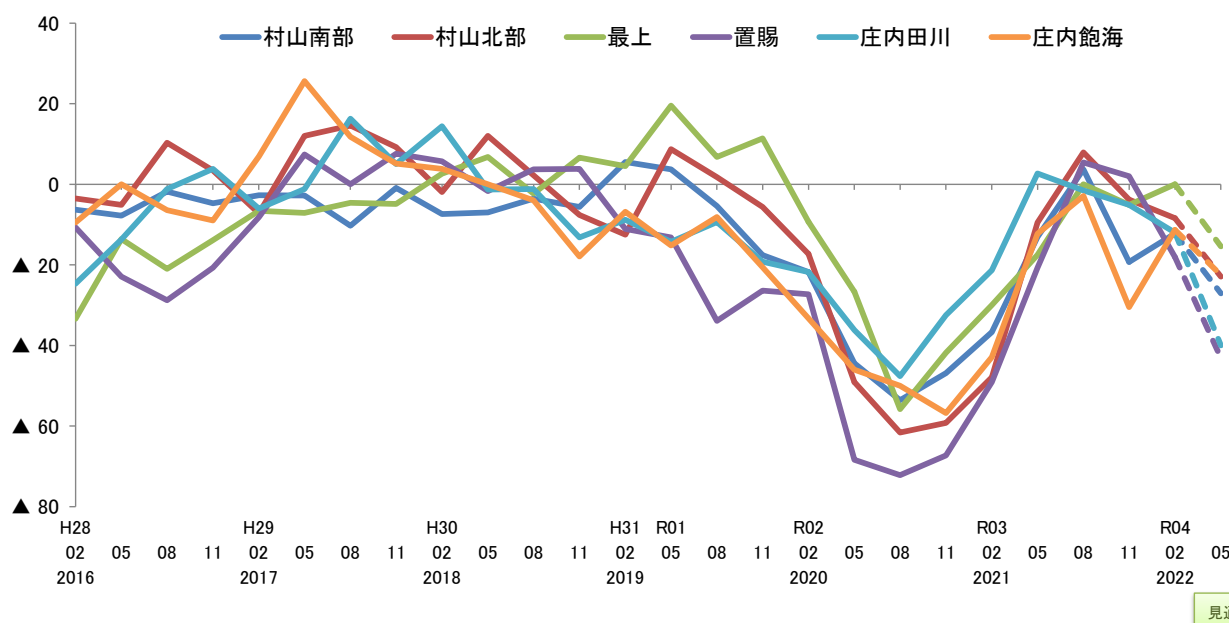
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲12.2（前回調査比 7.1 ポイント上昇）、村山北部が▲8.4（前回調査比 4.6 ポイント下落）、最上が 0.0（前回調査比 5.1 ポイント上昇）、置賜が▲18.1（前回調査比 20.1 ポイント下落）、庄内田川が▲12.0（前回調査比 6.9 ポイント下落）、庄内飽海が▲11.3（前回調査比 19.2 ポイント上昇）と、村山南部、最上、庄内飽海で改善、村山北部、置賜、庄内田川で悪化となった。置賜は大幅に悪化し、D I 値がマイナスに転じた。

業況の先行き見通しをみると、すべての地域で悪化が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）						
	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
R 03.02 (n=397)	▲ 37.2	▲ 36.7	▲ 47.9	▲ 30.0	▲ 49.1	▲ 21.3	▲ 42.9
R 03.05 (n=409)	▲ 11.0	▲ 13.1	▲ 9.5	▲ 17.5	▲ 20.7	2.7	▲ 12.3
R 03.08 (n=393)	2.0	3.7	7.9	0.0	5.4	▲ 1.5	▲ 2.9
R 03.11 (n=398)	▲ 12.3	▲ 19.3	▲ 3.8	▲ 5.1	2.0	▲ 5.1	▲ 30.5
R 04.02 (n=384)	▲ 10.9	▲ 12.2	▲ 8.4	0.0	▲ 18.1	▲ 12.0	▲ 11.3
前回調査比	(1.4)	(7.1)	(▲ 4.6)	(5.1)	(▲ 20.1)	(▲ 6.9)	(19.2)
先行き見通し	▲ 28.9	▲ 27.1	▲ 22.9	▲ 15.4	▲ 43.1	▲ 40.0	▲ 22.5
今回調査比	(▲ 18.0)	(▲ 14.9)	(▲ 14.5)	(▲ 15.4)	(▲ 25.0)	(▲ 28.0)	(▲ 11.2)

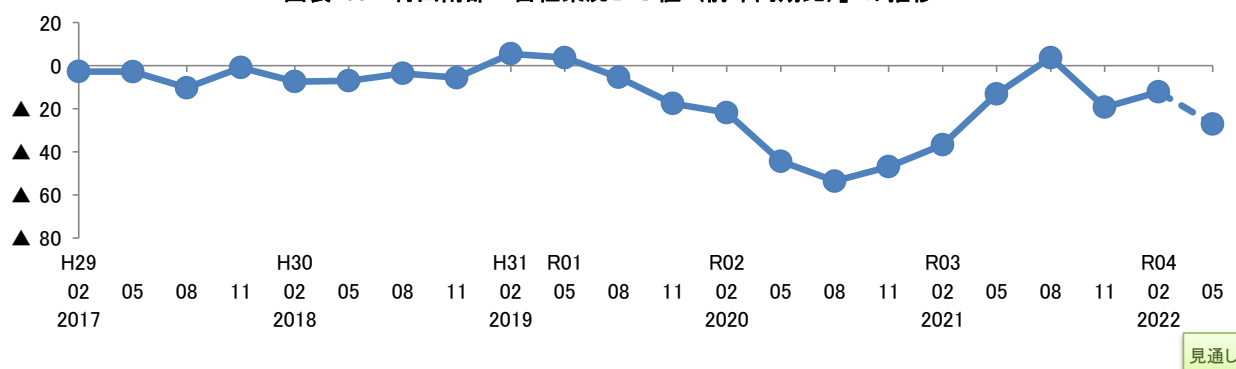
(2) 地域別 D I 値の動向

① 村山南部

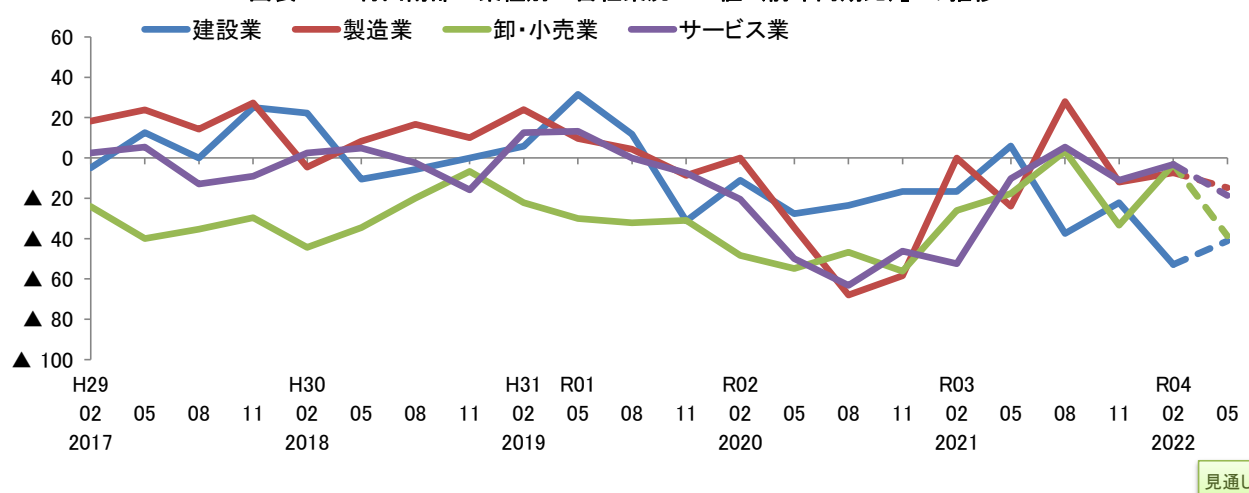
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲12.2（前回調査比 7.1 ポイント上昇）と一進一退の状況となっている。業種別にみると、建設業で大幅に悪化、その他の 3 業種で改善となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲27.1（今回調査比 14.9 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 13 村山南部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 14 村山南部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



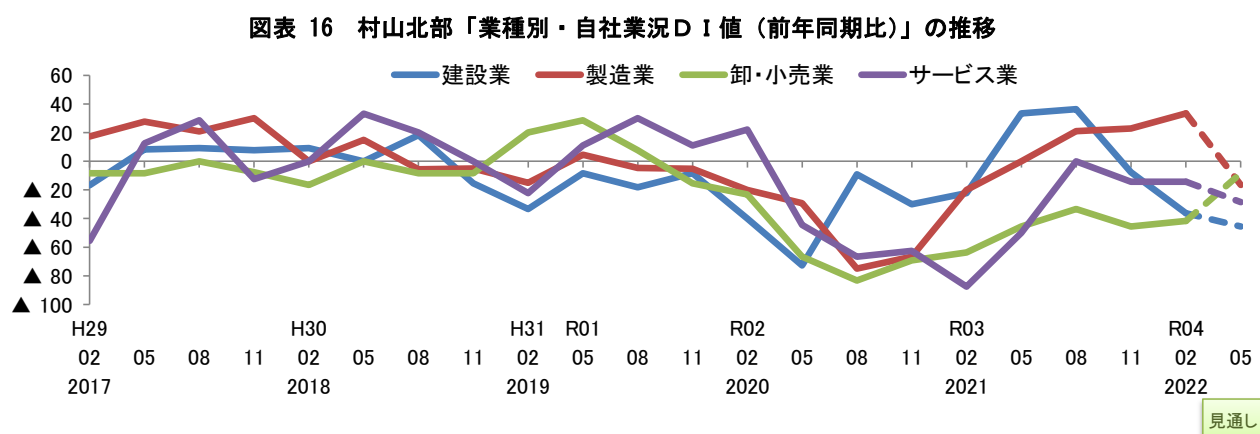
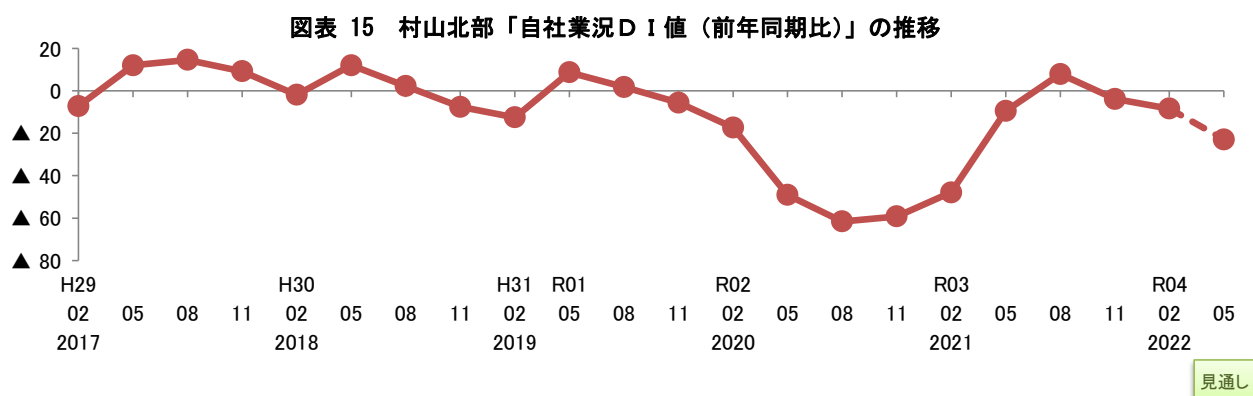
前年同期比の自社業況 D I 値

村山南部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 03. 02 (n=109)	▲ 36.7	(10.2)	▲ 26.5	▲ 16.7	0.0	▲ 26.0	▲ 52.5
R 03. 05 (n=115)	▲ 13.1	(23.6)	▲ 28.5	5.9	▲ 24.0	▲ 17.7	▲ 10.3
R 03. 08 (n=108)	3.7	(16.8)	▲ 16.5	▲ 37.5	28.0	3.3	5.4
R 03. 11 (n=109)	▲ 19.3	(▲ 23.0)	▲ 17.6	▲ 22.2	▲ 12.0	▲ 33.3	▲ 11.1
R 04. 02 (n=107)	▲ 12.2	(7.1)	▲ 18.3	▲ 52.9	▲ 7.4	▲ 3.3	▲ 3.2
前回調査比	-	-	-	(▲ 30.7)	(4.6)	(30.0)	(7.9)
先行き見通し	▲ 27.1	-	-	▲ 41.2	▲ 14.8	▲ 38.7	▲ 18.7
今回調査比	(▲ 14.9)	-	-	(11.7)	(▲ 7.4)	(▲ 35.4)	(▲ 15.5)

② 村山北部

「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲8.4（前回調査比 4.6 ポイント下落）と 2 期連続で悪化した。業種別にみると、建設業は大幅に悪化、製造業と卸・小売業は改善、サービス業は横ばいとなった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲22.9（今回調査比 14.5 ポイント下落）と悪化が見込まれている。



前年同期比の自社業況DI値

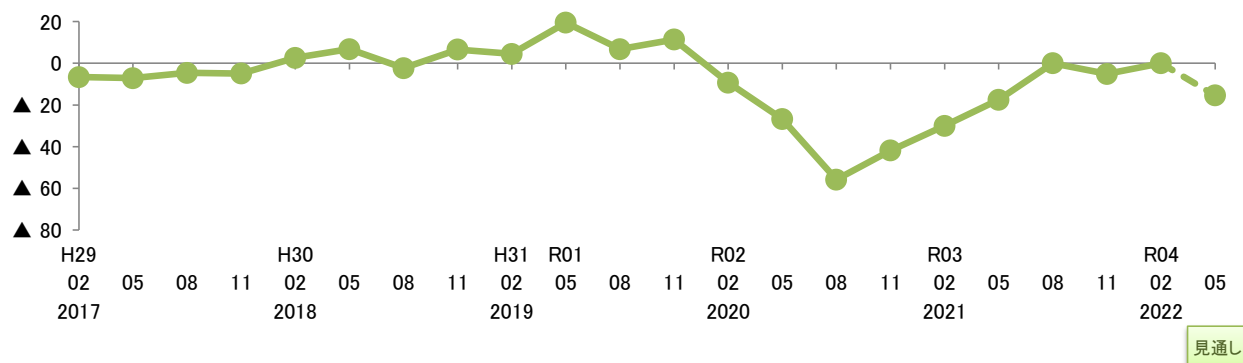
村山北部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 03.02 (n=48)	▲ 47.9	(11.3)	▲ 30.7	▲ 22.2	▲ 20.0	▲ 63.6	▲ 87.5
R 03.05 (n=53)	▲ 9.5	(38.4)	▲ 39.6	33.4	0.0	▲ 45.5	▲ 50.0
R 03.08 (n=51)	7.9	(17.4)	13.2	36.4	21.0	▲ 33.4	0.0
R 03.11 (n=53)	▲ 3.8	(▲ 11.7)	▲ 9.8	▲ 7.7	22.8	▲ 45.5	▲ 14.3
R 04.02 (n=48)	▲ 8.4	(▲ 4.6)	3.8	▲ 36.4	33.4	▲ 41.7	▲ 14.3
前回調査比	-	-	-	(▲ 28.7)	(10.6)	(3.8)	(0.0)
先行き見通し	▲ 22.9	-	-	▲ 45.5	▲ 16.6	▲ 8.4	▲ 28.6
今回調査比	(▲ 14.5)	-	-	(▲ 9.1)	(▲ 50.0)	(33.3)	(▲ 14.3)

③ 最 上

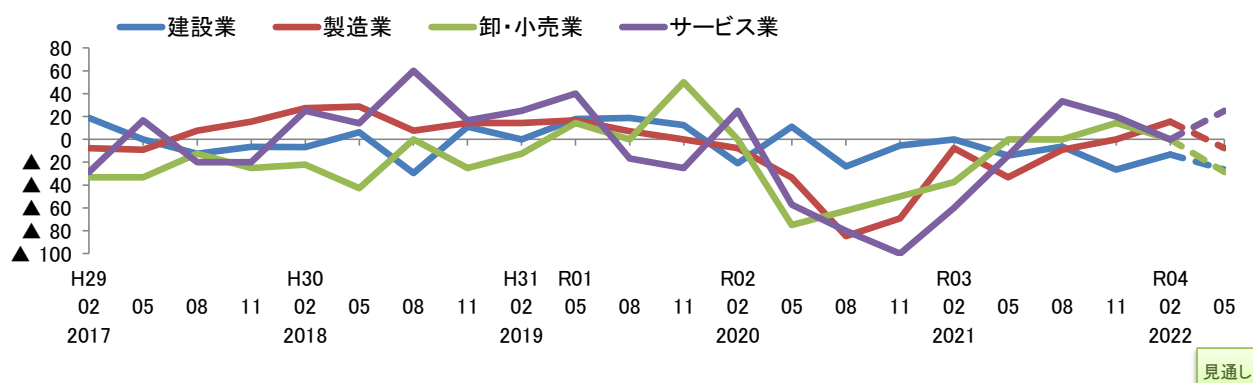
「自社の業況DI値（前年同期比）」は0.0（前回調査比5.1ポイント上昇）と一進一退の状況となっている。業種別にみると、建設業と製造業で改善となったものの、卸・小売業とサービス業で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲15.4（今回調査比15.4ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 17 最上「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 18 最上「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

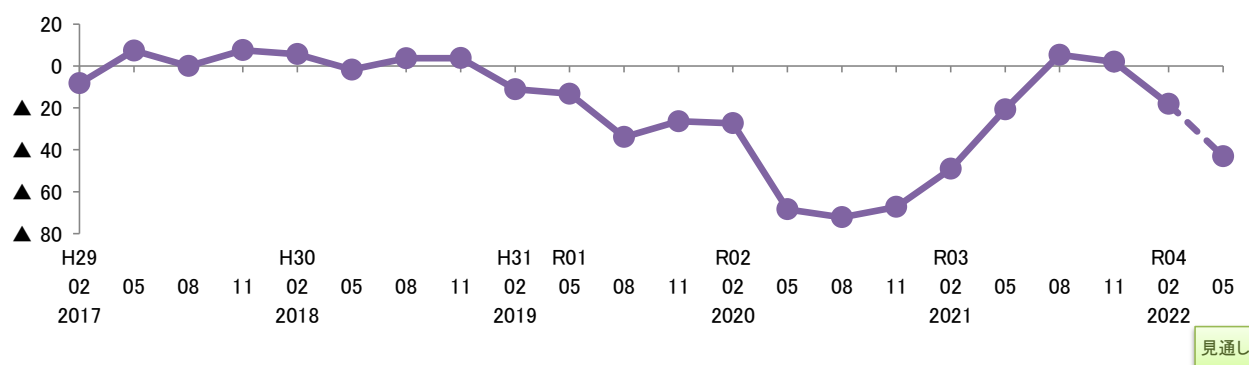
最 上 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービ
R 03. 02 (n=40)	▲ 30.0	(11.8)	▲ 27.9	0.0	▲ 7.7	▲ 37.5	▲ 60.0
R 03. 05 (n=40)	▲ 17.5	(12.5)	▲ 40.0	▲ 14.3	▲ 33.3	0.0	▲ 14.3
R 03. 08 (n=41)	0.0	(17.5)	▲ 35.0	▲ 6.3	▲ 9.1	0.0	33.3
R 03. 11 (n=39)	▲ 5.1	(▲ 5.1)	▲ 14.6	▲ 26.6	0.0	14.3	20.0
R 04. 02 (n=39)	0.0	(5.1)	▲ 7.7	▲ 13.3	15.4	0.0	0.0
前回調査比	-	-	-	(13.3)	(15.4)	(▲ 14.3)	(▲ 20.0)
先行き見通し	▲ 15.4	-	-	▲ 26.6	▲ 7.7	▲ 28.6	25.0
今回調査比	(▲ 15.4)	-	-	(▲ 13.3)	(▲ 23.1)	(▲ 28.6)	(25.0)

④ 置 賜

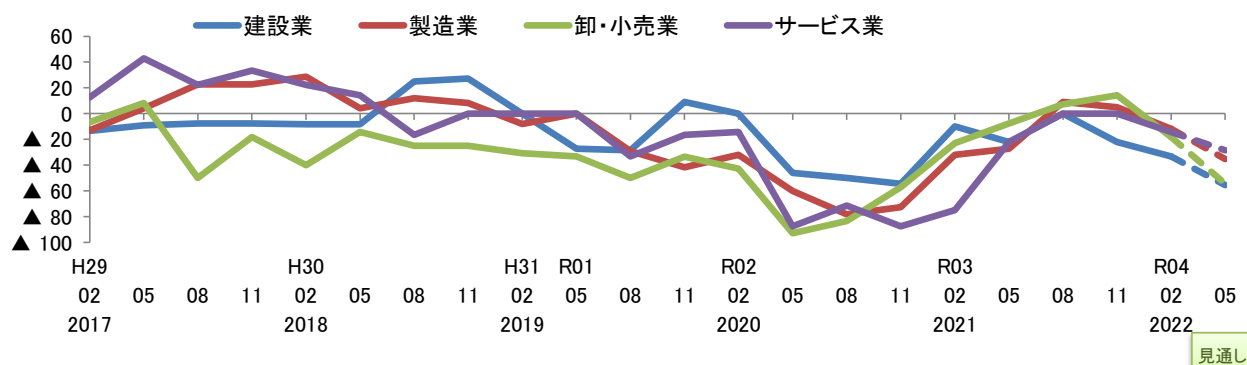
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲18.1（前回調査比 20.1 ポイント下落）と大幅に悪化し、D I 値がマイナスに転じた。業種別にみると、すべての業種で悪化となり、製造業と卸・小売業で D I 値がマイナスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲43.1（今回調査比 25.0 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 19 置賜「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 20 置賜「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

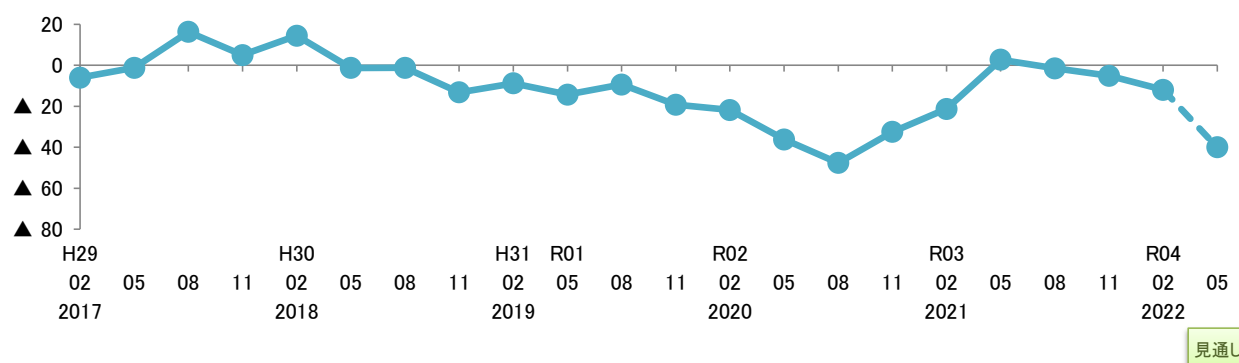
置 賜 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービ
R 03. 02 (n=55)	▲ 49.1	(18.2)	▲ 27.3	▲ 10.0	▲ 32.0	▲ 23.0	▲ 75.0
R 03. 05 (n=53)	▲ 20.7	(28.4)	▲ 54.5	▲ 22.2	▲ 27.3	▲ 7.7	▲ 22.2
R 03. 08 (n=56)	5.4	(26.1)	▲ 30.2	0.0	9.1	7.1	0.0
R 03. 11 (n=49)	2.0	(▲ 3.4)	▲ 17.9	▲ 22.2	5.0	14.3	0.0
R 04. 02 (n=44)	▲ 18.1	(▲ 20.1)	▲ 24.5	▲ 33.3	▲ 11.8	▲ 18.2	▲ 14.3
前回調査比	-	-	-	(▲ 11.1)	(▲ 16.8)	(▲ 32.5)	(▲ 14.3)
先行き見通し	▲ 43.1	-	-	▲ 55.6	▲ 35.3	▲ 54.5	▲ 28.5
今回調査比	(▲ 25.0)	-	-	(▲ 22.3)	(▲ 23.5)	(▲ 36.3)	(▲ 14.2)

⑤ 庄内田川

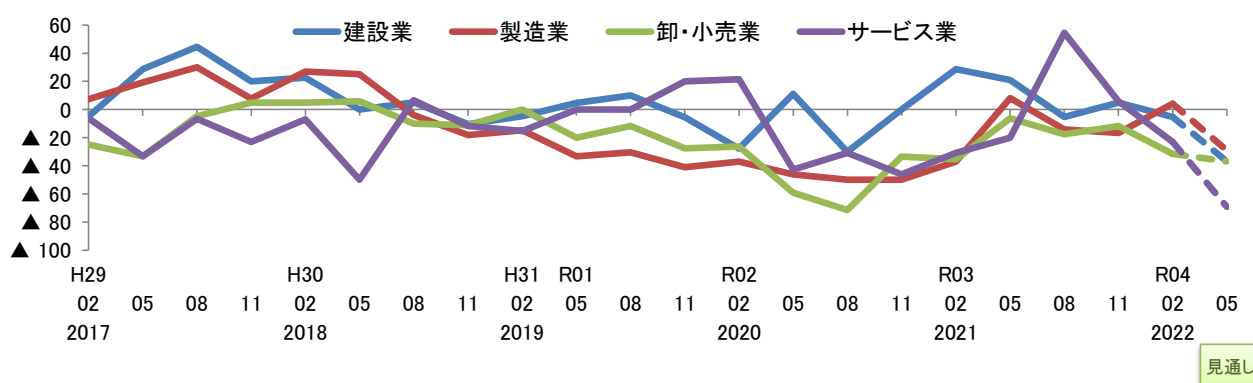
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲12.0（前回調査比 6.9 ポイント下落）と 3 期連続で悪化となった。業種別にみると、建設業、卸・小売業、サービス業で悪化し、建設業とサービス業は D I 値がマイナスに転じた一方、製造業は大幅に改善し、D I 値はプラスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲40.0（今回調査比 28.0 ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。

図表 21 庄内田川「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 22 庄内田川「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

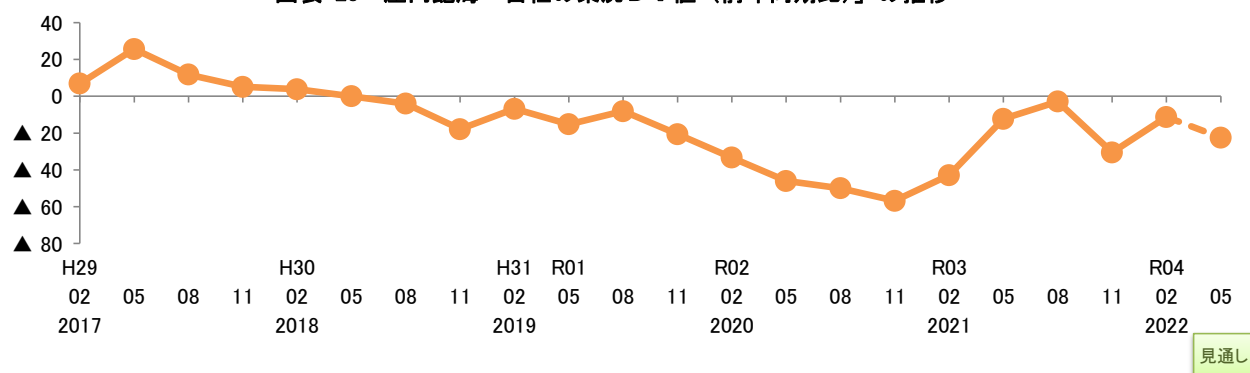
庄内田川 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 03. 02 (n=75)	▲ 21.3	(11.2)	▲ 22.9	28.6	▲ 37.0	▲ 35.3	▲ 30.8
R 03. 05 (n=75)	2.7	(24.0)	▲ 41.3	21.0	8.0	▲ 6.3	▲ 20.0
R 03. 08 (n=68)	▲ 1.5	(▲ 4.2)	▲ 17.4	▲ 5.3	▲ 14.3	▲ 17.7	54.5
R 03. 11 (n=79)	▲ 5.1	(▲ 3.6)	▲ 10.3	4.8	▲ 16.7	▲ 11.8	5.9
R 04. 02 (n=75)	▲ 12.0	(▲ 6.9)	3.8	▲ 5.3	4.1	▲ 31.6	▲ 23.1
前回調査比	-	-	-	(▲ 10.1)	(20.8)	(▲ 19.8)	(▲ 29.0)
先行き見通し	▲ 40.0	-	-	▲ 36.8	▲ 29.2	▲ 36.8	▲ 69.2
今回調査比	(▲ 28.0)	-	-	(▲ 31.5)	(▲ 33.3)	(▲ 5.2)	(▲ 46.1)

⑥ 庄内飽海

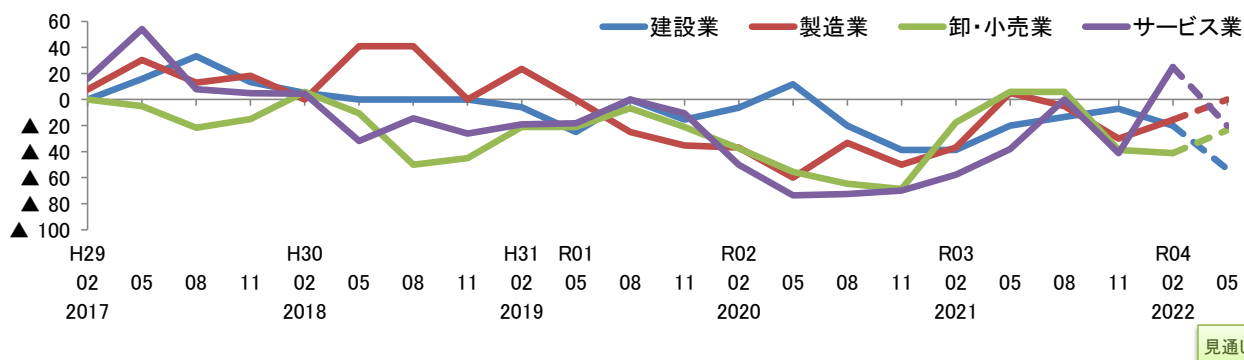
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲11.3（前回調査比 19.2 ポイント上昇）と一進一退の状況となっている。業種別にみると、建設業と卸・小売業で悪化した一方、製造業とサービス業で改善し、サービス業は D I 値がプラスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲22.5（今回調査比 11.2 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 23 庄内飽海「自社の業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 24 庄内飽海「業種別・自社の業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

庄内飽海 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 03. 02 (n=70)	▲ 42.9	(13.9)	▲ 37.8	▲ 38.8	▲ 36.9	▲ 17.6	▲ 57.9
R 03. 05 (n=73)	▲ 12.3	(30.6)	▲ 42.8	▲ 20.0	5.0	5.9	▲ 38.1
R 03. 08 (n=69)	▲ 2.9	(9.4)	▲ 15.1	▲ 13.3	▲ 5.0	5.9	0.0
R 03. 11 (n=69)	▲ 30.5	(▲ 27.6)	▲ 20.3	▲ 7.1	▲ 30.0	▲ 38.8	▲ 41.1
R 04. 02 (n=71)	▲ 11.3	(19.2)	▲ 8.7	▲ 20.0	▲ 15.7	▲ 41.2	25.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 12.9)	(14.3)	(▲ 2.4)	(66.1)
先行き見通し	▲ 22.5	-	-	▲ 53.3	0.0	▲ 23.5	▲ 20.0
今回調査比	(▲ 11.2)	-	-	(▲ 33.3)	(15.7)	(17.7)	(▲ 45.0)

II. 景気天気予報図

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$D \geq 30$	$30 > D \geq 10$	$10 > D \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > D \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > D$

山 形 県

今期の業況 →

来期の見通し

庄内飽海

→

最 上

→

庄内田川

→

村山北部

→

置 賜

→

村山南部

→

今期の概況

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

来期の見通し

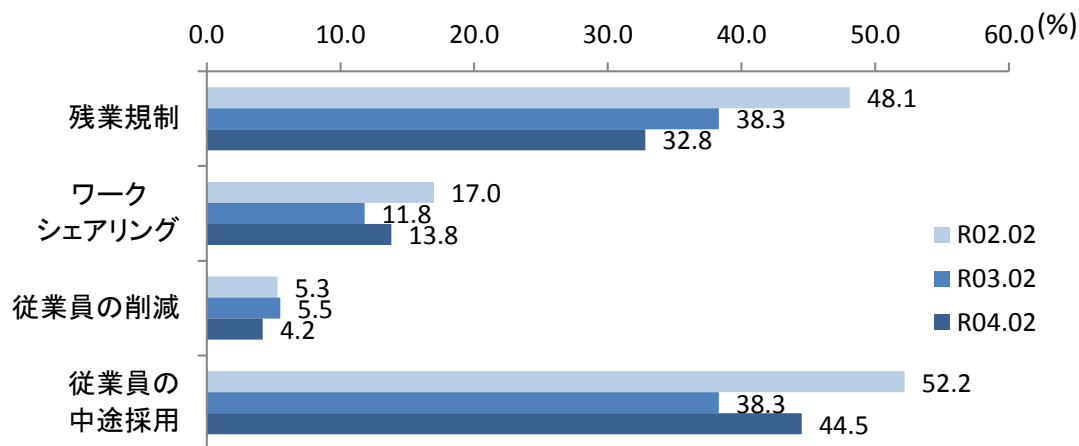
	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

III. 特別調査

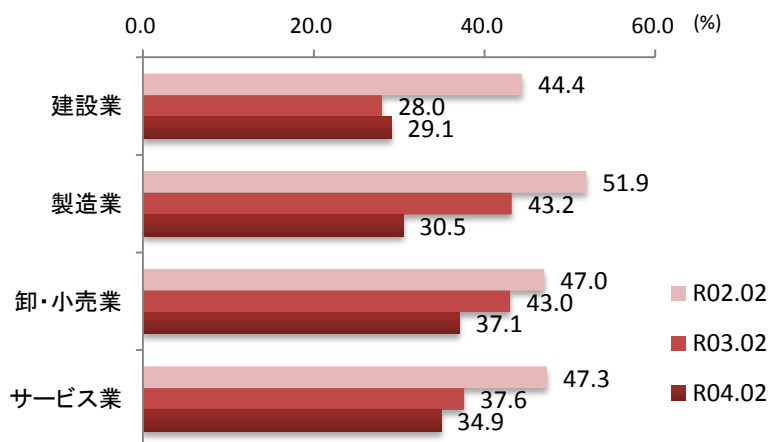
1. 雇用調整について

令和3年度に実施した（あるいは実施している）雇用調整について尋ねたところ、「残業規制」が32.8%（昨年比5.5ポイント低下）、「ワークシェアリング」が13.8%（昨年比2.0ポイント上昇）、「従業員の削減」が4.2%（昨年比1.3ポイント低下）、「従業員の中途採用」が44.5%（昨年比6.2ポイント上昇）と、昨年に比べ、「残業規制」と「従業員の削減」の割合は低下し、「ワークシェアリング」「従業員の中途採用」の割合は上昇した。

図表 25 雇用調整の実施状況

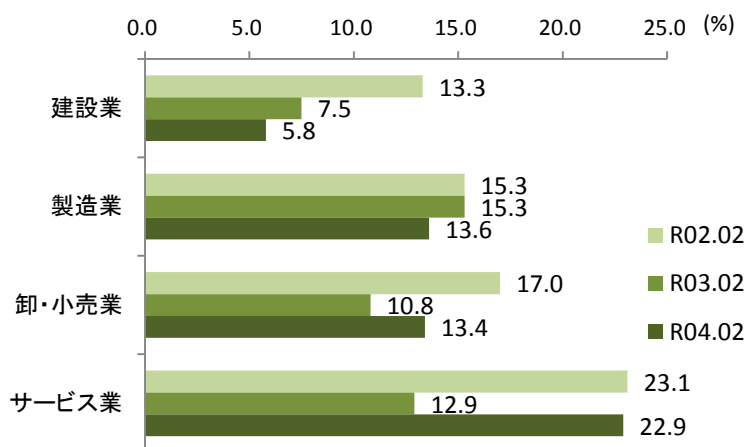


図表 26 業種別「残業規制」の実施状況



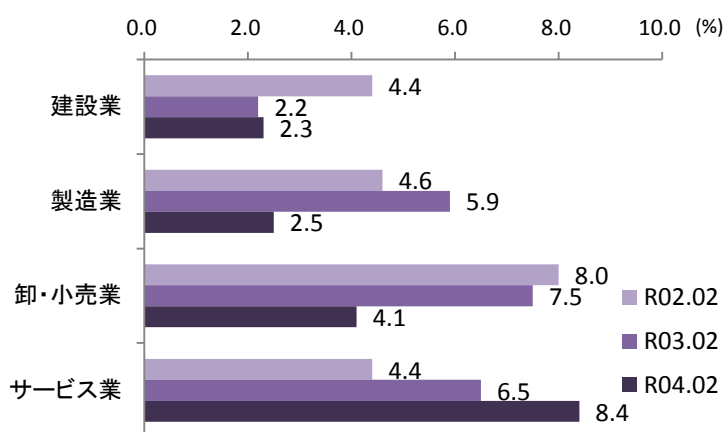
「残業規制」の実施割合を業種別にみると、昨年に比べ、建設業で上昇、製造業、卸・小売業、サービス業で低下となった。

図表 27 業種別「ワークシェアリング」の実施状況



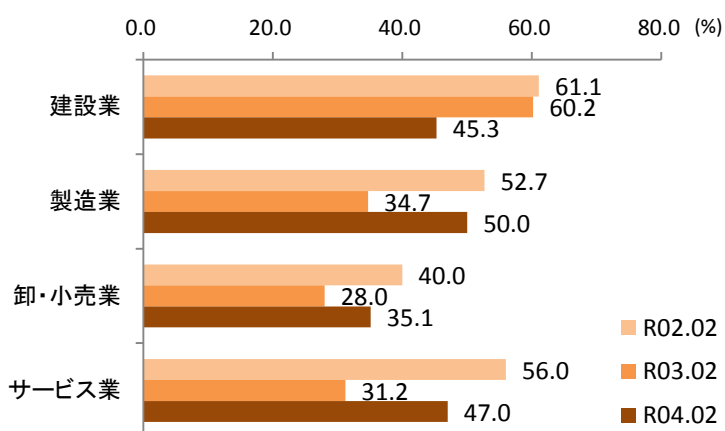
「ワークシェアリング」の実施割合を業種別にみると、昨年に比べ、建設業と製造業で低下となった一方、卸・小売業とサービス業で上昇となった。サービス業では 22.9%（昨年比 10.0 ポイント上昇）と大幅な上昇となっている。

図表 28 業種別「従業員の削減」の実施状況



「従業員の削減」の実施割合を業種別にみると、昨年に比べ、建設業はほぼ横ばい、製造業と卸・小売業で低下、サービス業で上昇となった。

図表 29 業種別「従業員の中途採用」の実施状況

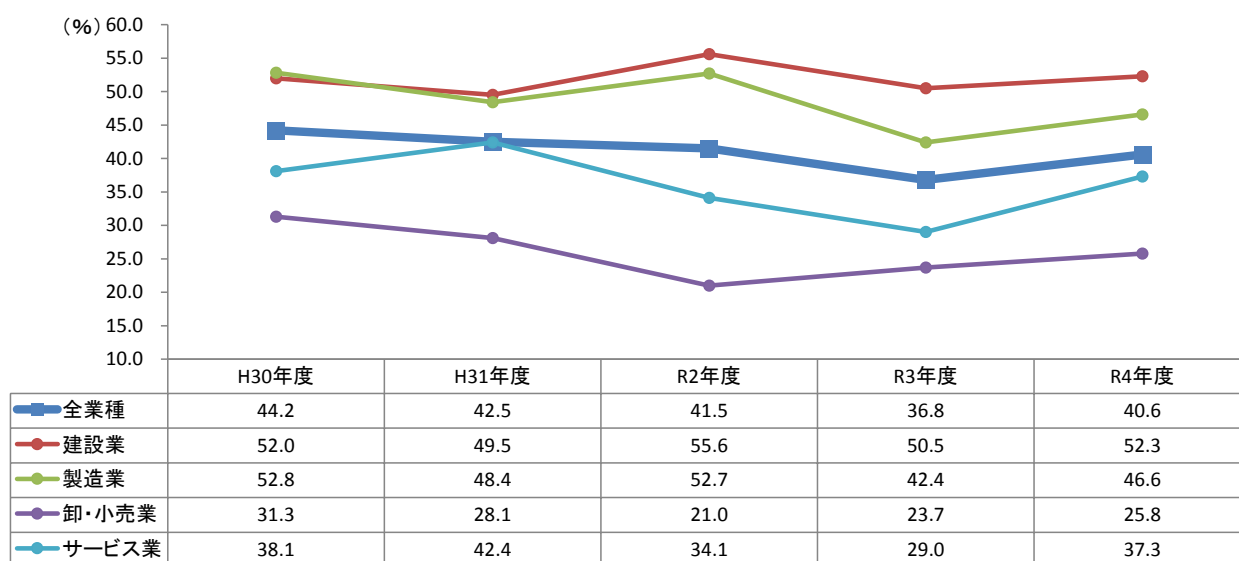


「従業員の中途採用」の実施割合を業種別にみると、建設業で低下となった一方、製造業、卸・小売業、サービス業で上昇となった。

2. 新卒者の採用状況について

来年度（令和 4 年度）の新卒者の採用状況（採用するかどうか）について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種でみると 40.6%（昨年調査比 3.8 ポイント上昇）と 4 年ぶりに上昇となった。業種別にみると、建設業が 52.3%（昨年調査比 1.5 ポイント上昇）、製造業が 46.6%（昨年調査比 4.2 ポイント上昇）、卸・小売業が 25.8%（昨年調査比 2.1 ポイント上昇）、サービス業が 37.3%（昨年調査比 8.3 ポイント上昇）と、すべての業種で上昇となった。

図表 30 業種別「新卒者の採用状況」の推移



<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	22	35	44	53	154
村山北部	20	32	17	17	86
最 上	21	18	10	17	66
置 賜	23	27	25	12	87
庄内田川	29	37	28	28	122
庄内飽海	34	32	31	36	133
合 計	149	181	155	163	648

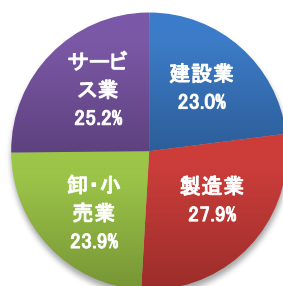
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	17	27	31	32	107
村山北部	11	18	12	7	48
最 上	15	13	7	4	39
置 賜	9	17	11	7	44
庄内田川	19	24	19	13	75
庄内飽海	15	19	17	20	71
合 計	86	118	97	83	384

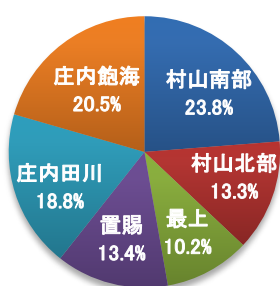
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	77.3	77.1	70.5	60.4	69.5
村山北部	55.0	56.3	70.6	41.2	55.8
最 上	71.4	72.2	70.0	23.5	59.1
置 賜	39.1	63.0	44.0	58.3	50.6
庄内田川	65.5	64.9	67.9	46.4	61.5
庄内飽海	44.1	59.4	54.8	55.6	53.4
合 計	57.7	65.2	62.6	50.9	59.3

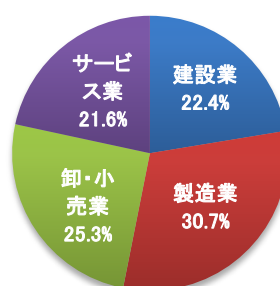
サンプル割合（業種別）



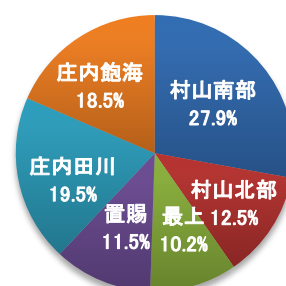
サンプル割合（地域別）



回答社割合（業種別）



回答社割合（地域別）



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部 F A X を利用）

● 調査期間

令和 4 年 2 月 1 日 (火)～15 日 (火)

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項 目	選択肢 (択一方式)
自社の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製 (商) 品の仕入価 (卸・小売業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採用している

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り

例) 自社の業況 D I 値

= (「1. 良い」と回答した企業の割合) - (「3. 悪い」と回答した企業の割合)

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (https://www.fir.co.jp/report/report_y_keiki) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社 フィデア情報総研

リサーチ&コンサルティング事業本部 熊本 均 / 手塚 綾子

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-2 1 荘銀山形ビル 8 F

TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@fir.co.jp URL : <https://www.fir.co.jp/>